

# ウミホタル 青い輝き



## 西条で学習会 カブトガニ放流も

西条市河原津の休暇村瀬戸内東予で15、16の両日、市内の海岸に生息する生き物の学習会があった。宿泊者約70人が夜に青く光るウミホタルや「生きてる化石」と呼ばれるカブトガニと触れ合い、生態について理解を深めた。

休暇村と市東予郷土館が毎年夏休みの期間に開催。15日は、参加者が瓶で捕獲したウミホタルを観察し「きれい」「こんなに光るんだ」と歓声を上げた。休暇村のスタッフからは「夜行性で外敵への威嚇や求愛のために放出する液体が、酸素と反応して光る」と教わった。

16日朝には、市東予郷土館で繁殖させた体長1センチほどのカブトガニの幼生100匹を河原津海岸に放流。新潟県から家族旅行で訪れた小学6年細井誠さん(11)は「初めてウミホタルの光を見て驚いた。一斉に青くなるのがきれいで、夏休みの思い出になった」と充実した様子だった。(伊藤義樹)

読もう!



青い光を放つウミホタル